

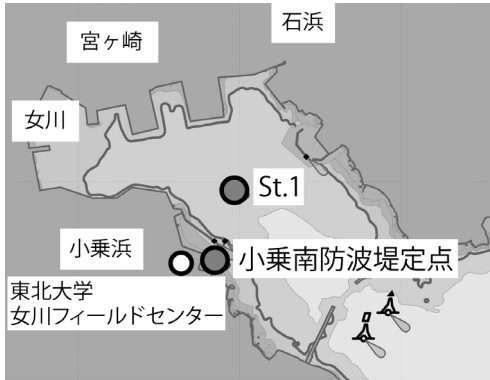
週刊 女川湾海況速報 (No.48)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

6 月 17 日から 21 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して全層で水温は下降したが、塩分は上昇。経時的には表層（0m）の水温は 19 日に下降し、それ以降は 15℃台を示した。表層の塩分も 19 日に一旦下降し、32PSU 以下になった。19 日の表層の塩分下降は降水の影響と推定。

水深 [m]	6月17日 (月)	6月18日 (火)	6月19日 (水)	6月20日 (木)	6月21日 (金)
0	16.4 (31.7)	16.4 (32.4)	15.4 (31.5)	15.3 (32.2)	15.0 (32.5)
6	12.4 (32.8)	11.3 (33.0)	10.6 (33.2)	12.8 (32.8)	13.6 (32.6)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位は PSU (実用塩分単位)。*20 日と 21 日は水深 5m のデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で下降。表層では期間を通じて 1FTU 以下であったが、底層（6m）では 19 日以降に 1FTU 以上を示した。 (単位は FTU)

水深 [m]	6月17日 (月)	6月18日 (火)	6月19日 (水)	6月20日 (木)	6月21日 (金)
0	0.4	0.6	0.7	0.5	0.7
6	0.6	0.8	1.0	1.5	1.0

③溶存酸素：多項目水質計のセンサーの不調のためデータが欠損しました。

水深 [m]	6月17日 (月)	6月18日 (火)	6月19日 (水)	6月20日 (木)	6月21日 (金)
0					
6					

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 9.7～15.2℃、31.9～33.3PSU の範囲にあり、表層では 32PSU 以下の低塩分水が存在。濁度は 0.7～1.9FTU の範囲にあり、底層（19m）で最大。溶存酸素は 8.2～8.7mg/l の範囲にあり、表層で最小。

6 月 20 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [PSU]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	15.2	31.9	1.0	8.2
5	12.8	32.8	0.7	8.7
10	11.0	33.1	0.7	8.6
15	9.9	33.2	1.3	8.3
19	9.7	33.3	1.9	8.6

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室
Tel.: 022-717-8827
Fax: 022-717-8828
E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。